

2021. 10. 17



↑ 聖 日 礼 拝 前 11 時

奏 樂 (司会) 鈴木恵一朗兄
大東敬子姉

招 詞 詩編23編6節

讚 美 歌 四九三(2節のみ)

主の祈り 九三(5A)

交誦詩編 五二

使徒信条 九三(4の1A)

讚 美 歌 二八

祈 禱

聖 書 ルツ記 2章20〜23節

説 教 マルコによる福音書15章33〜41節

讚 美 歌 二八〇

「十字架のもと」

加山真路牧師

祈 禱 三〇〇

讚 美 歌 二七

献 金

讚 美 歌

祝 禱

練習讚美歌 四九三

報 告

§ 今週の集会

日 曜 学 校 17日 前9時

墓所埋葬方法WG 17日 後1時

祈 禱 会 20水 前11時(細川先生)

婚約式(石松さやか・嘉村涼太) 23土 後3時

◆ 今日のお花のご奉仕は、奥居洋子姉です。

* 今週の会堂掃除

今日の会堂掃除(2・3F礼拝堂のみ)

礼拝後、有志でお願いします。どうぞよろしく

お願いいたします。

※ 1Fホールと多目的室は使用した

グループで、トイレは週末に有志で。

△ 礼拝当番▽ (オンラインでは割愛)

※ 10月1日で緊急事態宣言が解除されたことを受けて、役員会で協議した結果、現在の「レベル4」から「レベル4（オンライン）礼拝に必ずかれる方も出席可」に緩和することに決まりました。10月17日の「分散礼拝」は（会員名簿の）「港区」・「県内」の方々です。

この分散礼拝は、11月14日まで継続し、その後のことは次の役員会でまた話し合われます。（詳細は、同封の「役員会報告」をよくお読みください。）

* 個人消息（オンラインでは割愛）

* 予告 永眠者合同記念会

11月7日（日）午後1時半からです。申し込みは31日（日）までですが、先週お配りした申し込み用紙に、コロナ対応を考えた趣旨や申し込み方法について書かれていますので、どうぞよくお読みください。当日の礼拝も、ライブ中継および録画配信を予定していますので、くれぐれは「無理なきまじやう」。

* 第71回教育週間（10月17日～24日）

今年もテーマは「さあ、つながろう」。日曜学校では、主題聖句「わたしの名のためにこのような子供の人を受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。わたしを受け入れる者は、わたしではなくて、わたしをお遣わしになった方を受け入れるのである」（マルコ9章37節）によって、礼拝をします。また、特別献金をささげ、NCC教育部に送ります。献金袋が1階の日曜学校の状態しにありますが、どなたでもご自由にお捧げください。

この教育週間を憶え、『良い実』を発行し、20日の便で発送します。日曜学校の取れたての実りがたくさん♪ よくお読みくださり、引き続き日曜学校の働きのためにお祈りください。

* 「教勢の統計 私たちの歩み(II)」

皆さんは統計がお好きですか？ 仕事でお馴染みの人もいれば、数字が不得意という方もいらっしゃるでしょうが、5年に1度発行される当教会の統計も、これで11回目。半世紀以上にわたる統計を通して、「教会の今」、そして「次代」を考えるための大切な

ヒントがたくさん隠れています。

とくに今回は、「2020年度Ⅱコロナ禍の一年」をどう読み解くかがポイント！ さまざまな数字に秘められた「喜び」の種。その1つ1つが、教会の元気の素になっていくことでしょう。

なお、「レペル4」の分散礼拝となりましたので、24日(日)までは、教会にいらした際に受け取っていただくようにし、それ以外の方には月末郵送します。まずは1家庭につき1冊ずつ用意していますが、予備も十分にありますので、2冊目以降もご自由にお持ちください。郵送で複数部をご希望の方は、教会にお申し出ください。

* 今年のクリスマス委員・係

クリスマス委員会のもとに、係が選出され、いよいよ始動。コロナ禍の中だからこそ、「静かに、深く」味わう、六角橋教会ならではのクリスマスにしましょう。

今年も委員長と各リーダーのみを決め、行事ごとに活動していきます。

※ なお、コロナ感染症対応のため、今年も愛餐会はおこないません。

◆ 玄関の改修工事が始まります

教会玄関前のアプローチの改修および雨水・下水の配管新設工事が、18日(月)から11月4日(木)までの予定でおこなわれます。

工事期間中、日曜日以外の教会への出入りは、正面に向かつて左側の道から裏へ回り、増築棟(多目的室側)の入り口からお願いします。

* 「みんなの交わり」シャローム

「クリスマス問安カード」のお願い

今年度も、例会や委員会を開くことができなかった「シャローム」ですが、9月に新委員を募り、新たに活動を再開。と言っても、聖研やこの頃の私、それに訪問は、このコロナ禍ではまだまだ無理…。でも、このような中にあっても、互いの交わる力を強め、深めることはできるはずと考えました。そして、教会に集まらなくても関わっていた「クリスマス問安カード」に力を注ぎ、ということになりました。

コロナ禍だからこそ、お互いへの思いを深くしたい
—そういう願いを込めて、「シヤROOM」ならでは
この行事を、今まで以上に充実させていきたいと思
っています。お申し出の締め切りは、11月7日(日)。
詳しいことは、別紙をご覧ください。

*** 日曜学校『カードサンタ』のお願い**

日曜学校のクリスマスプレゼントも、やはり「言葉
の贈り物」です。また今年も、コロナ禍のために、降
誕日礼拝後に中高科祝会が持てませんので、中高生に
も「言葉の贈り物」を届けたいと思います。カード総
数が増えますので、ぜひ「言葉のサンタ」になつてく
ださい。初めての方、大歓迎です。経験者は、(余裕
があれば)ぜひ枚数を増やしてください。もちろん
一枚でもかまいません。

なお、こちらの申し出締め切りは、10月31日(日)
となります。何かおわかりにならないことがあれば、
日曜学校教師まで、気軽にお問い合わせください。

◆ 教区互助募金を献金しました—財政的に厳しい
状態にある教会の教職への謝儀のために、互いに分か

ち合い、助け合う募金です。昨年同様15万円を送り
ました。

◆ 信愛塾への献金 — 多国籍の在日外国人のため
に、さまざまな活動をしている信愛塾。その功績が認
められ、この数年間で神奈川県や横浜市などからさま
ざまな賞を受賞されています。

教区などの行事案内 (詳細は掲示版をご覧ください)

◆ 教区婦人委員会・教区性差別問題特別委員会共催
講演会「ビジュアルが語る女性像と社会的影響」

— みんなが知って知らない世界 —

日時 10月30日(土) 13時半〜15時半

会場 紅葉坂教会 (Youtube配信も行います)

講師 大藪順子(のぶこ)さん
(フオトジャーナリスト・ライター)

◆ 教区礼拝音楽小委員会

礼拝音楽講習会「コロナ下の礼拝と賛美と音楽」

日時 10月31日(日) 14時半〜16時半

会場 清水ヶ丘教会 (Youtube配信も行います)

講師 塚本純一さん

参加費 1000円

◆ 教区青年委員会 オンライン集会 (Zoom)

「キリスト教とハロウィン」

ハロウィンってなあに？

日時 10月31日(日) 19時～20時半

申し込み aika.croesus@nifty.com (平良翠香牧師)

◆ 隠退教師を支える百田献金

ご寄付の受付はしております。

* 前週の報告 (オンラインでは割愛)

横浜市神奈川区六角橋一の二六の八

○四五(四三三)〇六九四

FAX(四三三)〇一九四

郵便振替口座00250・2・979

日本基督教団 六角橋教会

20 ナオミは嫁に言った。

「どうか、生きている人にも死んだ人にも
慈しみを惜しまれない主が、その人を祝
福してくださるように。」

ナオミは更に続けた。

「その人はわたしたちと縁続きの人です。
わたしたちの家を絶やさないようにする
責任のある人の一人です。」

21 モアブの女ルツは言った。「その方はわ
たしに、『うちの刈り入れが全部済むま
で、うちの若者から決して離れないでい
なさい』と言ってくださいました。」

22 ナオミは嫁ルツに答えた。「わたしの娘
よ、すばらしいことです。あそこで働く
女たちと一緒に畑に行けるとは。よその
畑で、だれかからひどい目に遭わされる
こともないし。」

23 ルツはこうして、大麦と小麦の刈り入れ
が終わるまで、ボアズのとこで働く女
たちから離れることなく落ち穂を拾った。

33 昼の十二時になると、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。

34 三時にイエスは大声で叫ばれた。「エロイ、エロイ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。

35 そばに居合わせた人々のうちには、これを聞いて、「そら、エリヤを呼んでいる」と言う者がいた。

36 ある者が走り寄り、海綿に酸いぶどう酒を含ませて葦の棒に付け、「待て、エリヤが彼を降ろしに来るかどうか、見てみよう」と言いながら、イエスに飲ませようとした。

37 しかし、イエスは大声を出して息を引き取られた。

38 すると、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂けた。

39 百人隊長がイエスの方を向いて、そばに立っていた。そして、イエスがこのように息を引き取られたのを見て、「本当に、この人は神の子だった」と言った。

40 また、婦人たちも遠くから見守っていた。その中には、マグダラのマリア、小ヤコブとヨセの母マリア、そしてサロメがいた。

41 この婦人たちは、イエスがガリラヤにおられたとき、イエスに従って来て世話をしていた人々である。なおそのほかにも、イエスと共にエルサレムへ上って来た婦人たちが大勢いた。